

セーフコミュニティ かめおか



～けがや事故を予防しよう～

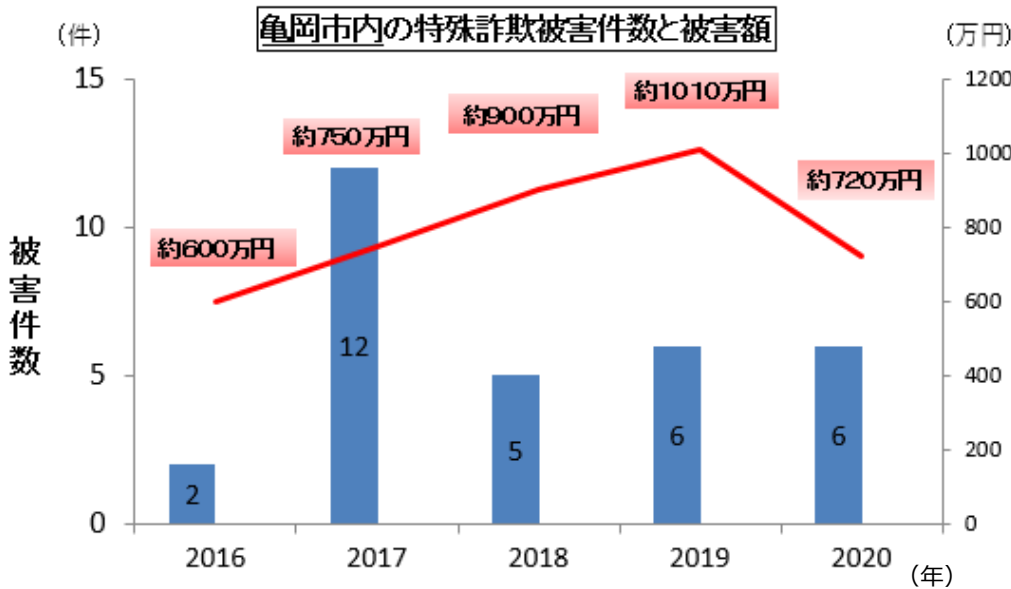
Vol.38 令和3年11月号

セーフコミュニティとは、「けがや事故は偶然の結果ではなく予防できる」という観点から市民の皆さまと行政機関などが協働して安心・安全に暮らせるまちをつくる取り組みです。

亀岡市では、「スポーツの安全」「自殺対策」「高齢者の安全」「乳幼児の安全」「交通安全」「防犯」「防災」の7つの対策委員会を設置し、安全・安心なまちを目指しています。

還付金詐欺にご注意ください！

本年6月と8月に本市で市職員などをかたる還付金詐欺被害が発生しました。介護保険料を還付する名目でATMへ誘導する手口で、全国でも自治体や金融機関の職員などになりすます詐欺が多発しています。**市役所がATMで還付することは絶対にありません！**不審な電話があれば相手にせず、すぐに家族や警察などに相談してください。



過去5年間の特殊詐欺被害件数と被害額です。件数は近年横ばい傾向ですが、被害額は依然大きくなっています。

夕暮れ時～夜間の外出時には反射材をつけましょう！



【反射材ひとつが命を救う効果！】君のくれたもの～反射材もらってよかった～

<YouTube 画面>

17時～19時台は薄暮の時間帯であり、特に日没が早くなる9月以降は事故が多くなる傾向があります。

事故防止には「反射材」の着用が有効です。

反射材は車のライトなどの光が当たると、その光をはね返すことができ、ドライバーに発見されやすくなります。

こちらのQRコードからYouTubeの反射材紹介動画を視聴できますので、ぜひご覧ください。



自殺予防対策～自殺を防ぐために、私たちができること～

警察庁が発表した自殺統計（2021年9月末速報値）で、京都府内の自殺者数が計290人と発表されました。前年同期（254人）より14%増加しており、コロナ禍における苦境や孤立の影響も指摘されています。

亀岡市では、コロナ禍で増加傾向にある自殺の予防に向けて、京都女子大学の学生にデザインを協力いただき、事前相談につながるようオリジナル啓発ポスターとチラシを作成し、市内の公共・商業施設や薬局などに掲示するほか、今後、市内企業にも掲示予定です。



あなたの身近に悩み苦しんでいる人はいませんか？心の声に耳を傾け、大切な人の命を守りましょう。

◎その悩み、誰かに相談してみませんか？

相談することは特別なことでも恥ずかしいことでもありません。一人で悩まず相談してください。

亀岡市福祉なんでも相談窓口：0771-25-5029（月～金曜日 平日 午前9時～午後5時）

（亀岡市地域福祉課）

京都府自殺ストップセンター：0570-783-797（月～金曜日 平日 午前9時～午後8時）

ころの相談電話（京都府）：075-645-5155（月～金曜日 平日 午前9時～正午、午後1時～4時）

京都いのちの電話：075-864-4343（年中無休 24時間）

よりそいホットライン：0120-279-338（年中無休 24時間）

防災フェスタを開催しました！



10月16日（土）サンガスタジアム byKYOCERAで「亀岡市防災フェスタ2021」を開催しました。防災講演会や「コンサート中に地震が起きた時」を想定した避難訓練を実施したほか、行政機関や企業が提供する防災サービスを展示ブースで紹介しました。災害はいつ発生するかわかりません。常日頃から災害に備えて、命を守る行動につなげましょう。



令和3年度から新たに防災対策委員会を設置しました。
今後、さらなる安全・安心のまちづくりのため、防災・減災対策をより推進します。